

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 8 年 4 月 28 日

都道府県知事 殿

病院名 日本赤十字社 長野赤十字病院
開設者 日本赤十字社 社長 清家 篤

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030347

臨床研修病院の名称： 長野赤十字病院

記入日：西暦 2026 年 4 月 25 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030347	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入して ください。	名称 長野赤十字病院臨床研修病院群 番号 0303471
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成責 任者について記入してください。	㊦㊧㊨ アゲマツ ジュンイチ 氏名 (姓) (名) 上松 淳一		役職 医師卒後研修係長 (内線 5861) (直通電話 (026) 226-4340) e-mail : kennsyuui@nagano-med.jrc.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	㊦㊧㊨ ニホンセキジュウジシャ ナガノセキジュジビョウイン 日本赤十字社 長野赤十字病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 380-8582 (長野 都・道・府・県) 長野市若里 5 丁目 22 番 1 号 電話 : (026) 226-4131 FAX : (026) 228-8439 二次医療圏 の名称 : 長野		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	㊦㊧㊨ ニホンセキジュウジシャ シャチョウ セイケ アツシ 日本赤十字社 社長 清家 篤		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒105-8521 (東京 都・道・府・県) 港区芝大門 1-1-3 電話 : (03) 3438- 1311 FAX : (03) 3459 - 1560		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	㊦㊧㊨ コバヤシ ヒカル 姓 名 小林 光		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員 (協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。) について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.nagano-med.jrc.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 2 ー

病院施設番号： 030347

臨床研修病院の名称： 長野赤十字病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：194名、非常勤（常勤換算）：6.83名 計（常勤換算）：200.83名、医療法による医師の標準員数：66.8名 <small>* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入</small>
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2023年1月30日、告示番号：第44号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2. 第二次救急医療機関 (3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有 (187.94) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 16,614 件（うち診療時間外： 13,817 件） 1日平均件数： 45.51 件（うち診療時間外： 37.85 件） 救急車取扱件数： 7,969 件（うち診療時間外： 5,211 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 6 名、看護師及び准看護師： 5 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1. 有 0. 無) 外科系 (1. 有 0. 無) 小児科 (1. 有 0. 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 635 床、2. 精神： 45 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 <small>年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。</small>
13. 病床の種別ごとの平均在院日数 <small>（小数第二位四捨五入）</small> <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 11.0 日、2. 精神： 41.8 日、3. 感染症： . 日 4. 結核： . 日、5. 療養： . 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 154 件、異常分娩件数： 178 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 6 回、今年度見込： 6 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 <small>下に開催した回数を記入</small>
	剖検数	前年度実績： 9 件、今年度見込： 9 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1. 有 0. 無 () 大学、() 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当：28,500 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	1. 有 (1 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(121.200) m ²
	医学図書数	国内図書：約2,150 冊、国外図書： 約90 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 155 種類、国外雑誌： 40 種類
	図書室の利用可能時間	0:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1. 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1. 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (0:00 ~ 24:00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1. 有 0. 無)、 その他 (動脈採血シミュレーター 胸腔穿刺シミュレーター)

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 3 ー

病院施設番号： 030347

臨床研修病院の名称：

長野赤十字病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ	ネツ	キミノリ		
		氏名(姓)	根津	(名)	公教	
		役職	耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長			
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)				
	診療録の保存期間	(電子カルテは永年) 年間保存				
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)				
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	①. 有 (1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>				
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (6) 名、兼任 (12) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 インシデント・アクシデント事例の収集、分析、改善対策の検討 インシデント・アクシデント事例検討会、メディカルリスクマネジメント(MRM)委員会、医療安全推進室定例会議等の開催、院内ラウンドの実施、講演会及び研修会の企画・運営、褥瘡対策等				
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等：	フリガナ	テラサワ	ミナ	
		氏名(姓)	寺澤	(名)	美奈	
		役職	看護副部長			
		対応時間 (8 : 30 ~ 17 : 00) 24 時間表記				
		患者相談窓口に係る規約の有無：	①. 有 0. 無			
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容：医療事故予防対策の組織的な検討と医療安全体制の推進				
医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (24) 回 活動の主な内容：①インシデントリポート、アクシデント報告に基づく再発予防策の検討②医療事故防止マニュアルの見直し、修正					
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容： ・講義形式やワークショップによる研修 (KYT 研修、転倒転落予防研修等)					
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：①通報の発行②院内ラウンドによる各部署の実態評価とその結果のフィードバック③医療事故発生時に事故調査会やRCAなどを開催して事実確認・検証、根本分析と対策案策定・立案					
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了： 12 名 中断： 0 名					
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)			前々年度	前年度	当該年度	
	1 年	12	14	14		
	2 年	12	13	14		
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (680) 床 ÷ 10 = (68) 名				
	患者数から算出	年間入院患者数 (16,882) 人 ÷ 100 = (169) 名				
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>	1. 精神保健福祉士： 6 名 (常勤：5 名、非常勤： 1 名)					
	2. 作業療法士： 10 名 (常勤：10 名、非常勤： 0 名)					
	3. 臨床心理技術者： 2 名 (常勤：2 名、非常勤： 0 名)					
	9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 名、非常勤： 名)					

24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況
(基幹型記入)

1. 有 (評価実施機関名: NPO 法人卒後臨床研修評価機構 (2021年9月15日))

0. 無

有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。

受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030347 臨床研修病院の名称： 長野赤十字病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。	※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名 男性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分) 病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無)
	保育補助	上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無) その他の補助 (具体的に：)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入(院外との連携した取組もあれば記入)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入(臨床研修センター・職員健康管理室) 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入(産業医・事務部人事課・職員健康管理室) 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： プログラム番号： _____
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1年次： 名、2年次： 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ 氏名(姓) _____ (名) 所属 _____ 役職 _____ 電話：() — FAX：() — e-mail： _____ URL：http:// _____
	資料請求先	住所 〒 □□□ — □□□□ (都・道・府・県) 担当部門 _____ 担当者氏名 フリガナ _____ 姓 _____ 名 _____ 電話：() — FAX：() —

			e-mail : _____ URL : http://_____
--	--	--	--------------------------------------

雇用保険 (1. 有 0. 無)

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030347

臨床研修病院の名称：

長野赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇 (続き) (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断 (年 2 回) その他 (具体的に)
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (1. する 0. しない) 個人加入 (1. 強制 0. 任意)
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加 (1. 可 0. 否)
		学会、研究会等への参加費用支給の有無： (1. 有 0. 無)
	院内保育所 (再掲)	院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分)
		病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無)
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可)
	保育補助 (再掲)	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無)
		その他の補助 (具体的に：)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所 (再掲)	休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入) (再掲)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口 (再掲)	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (臨床研修センター・職員健康管理室) 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無
各種ハラスメントの相談窓口 (再掲)	窓口の名称を記入 (産業医 事務部人事課 職員健康管理室) 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無	
37. 研修医手帳 (基幹型記入)	1. 有 0. 無	
38. 連携状況 (基幹型記入)	* 様式 A-6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数 (精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1)「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2)「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4)「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(1)～(3)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5)「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6)「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
 - (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 33 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
 - (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
 - (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
 - (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
 - (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
 - (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
 - (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
 - (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：日本赤十字社 長野赤十字病院 （長野県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
長野県	長野	長野赤十字病院 (病院施設番号: 030347)		長野県	松本		信州大学医学部附属病院 (病院施設番号:030346)		長野県	長野		飯綱町立飯綱病院 (病院施設番号: 030347)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		長野県赤十字血液センター (病院施設番号: 032548)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		信濃町立信越病院 (病院施設番号: 033889)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	佐久		川西赤十字病院 (病院施設番号: 034027)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野	削除	長野市国民健康保険戸隠診療所 (病院施設番号: 034031)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		医療法人愛和会 愛和病院 (病院施設番号: 096431)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		特定医療法人 新生病院 (病院施設番号:)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		稲荷山医療福祉センター (病院施設番号:)		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		医療法人公仁会 轟病院		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		医療法人公生会 竹重病院		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		医療法人あい友会 あい長野クリニック		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		長野県立総合リハビリテーションセンター		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
									長野県	長野		山田記念 朝日病院		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13
					長野県	長野		いろとりどりの診療所		長野赤十字病院医師臨床研修プログラム	13				

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
川西赤十字病院での研修を通じて、当院では経験できない地域に根付いた慢性期医療、また回復期リハビリテーション病棟での研修及び回復期以後の患者さんの社会復帰について学ぶため															

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和7年度開催回数 3回）

病院施設番号：030347 臨床研修病院の名称：長野赤十字病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ デグチ マサオ		長野赤十字病院	副院長	研修管理委員長 プログラム責任者 臨床研修指導医 研修実施責任者
姓 出口	名 正男			
フリガナ コバヤシ ヒカル		長野赤十字病院	院長	臨床研修指導医
姓 小林	名 光			
フリガナ セキ ヨシノリ		信州大学教育学部	教授	外部委員
姓 関	名 良徳			
フリガナ ヤナギハラ ミツクニ		安茂里柳原整形外科	院長	外部委員
姓 柳原	名 光國			
フリガナ ミヤザワ イズミ		川西赤十字病院	副院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 宮澤	名 泉			
フリガナ ハラダ テルカズ		飯綱町立飯綱病院	内科医長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 原田	名 輝和			
フリガナ モリ シゲキ		信濃町立信越病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 森	名 茂樹			
フリガナ アオキ アキコ		新生病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 青木	名 昭子			

氏名		所属	役職	備考
フリガナ イマイ リュウジロウ		長野市国保戸隠診療所	所長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 今井	名 隆二郎			
フリガナ ヤマダ ユウジ		愛和病院	理事長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 山田	名 祐司			
フリガナ キグチ サチ		稲荷山医療福祉センター	副所長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 木口	名 サチ			
フリガナ ナガオ ゲン		医療法人公仁会 轟病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 長尾	名 玄			
フリガナ タケシゲ カナコ		医療法人公生会 竹重病院	医師	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 竹重	名 加奈子			
フリガナ ソデヤマ ハルツグ		医療法人あい友会 あい長野クリニック	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 袖山	名 治嗣			
フリガナ キヨノ ヨシフミ		長野県立総合リハビリテーショ ンセンター	所長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 清野	名 良文			
フリガナ イイジマ ナオコ		山田記念 朝日病院	副院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 飯島	名 尚子			
フリガナ ツノ ヒロカズ		長野県血液センター	所長	研修実施責任者
姓 津野	名 寛和			
フリガナ イمامラ ヒロシ		信州大学医学部附属病院	救急集中治療医学教授	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 今村	名 浩			

フリガナ アサト リュウイチ	いろいろどりの診療所	所長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 安里	名 龍一		
フリガナ ミシマ ヨシト	長野赤十字病院	形成外科部長	プログラム副責任者 臨床研修指導医
姓 三島	姓 吉登		
フリガナ ヤマモト マナブ	長野赤十字病院	第二呼吸器内科部長	プログラム副責任者 臨床研修指導医
姓 山本	姓 学		
フリガナ オサダ ユキエ	長野赤十字病院	看護部長	看護部門の責任者
姓 長田	姓 ゆき江		
フリガナ コヤマ ヤスシ	長野赤十字病院	事務部長	事務部門の責任者
姓 小山	名 靖		
フリガナ シモエダ サダヒコ	長野赤十字病院	薬剤部長	薬剤部門の責任者
姓 下枝	名 貞彦		
フリガナ カミヤ ナオキ	長野赤十字病院	放射線技師長	放射線技術部門の責任者
姓 神谷	名 直紀		
フリガナ トクタケ タカヨシ	長野赤十字病院	検査部技師長	検査部門の副責任者
姓 徳竹	名 孝好		
フリガナ			
姓	名		
フリガナ			
姓	名		
フリガナ			
姓	名		
フリガナ			
姓	名		
フリガナ			
姓	名		

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：長野赤十字病院
病院施設番号：030347

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	総 合 内 科	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修科目 の診療科			その他の研修 を行う診療科	
							産 科	婦 人 科		麻 酔 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	6,332	1,625 (16,614)	1,824	83	1,514	1,018 (332)			212	0	921	512	26	787
年間新外来患者数	9,121	10,506	2,087	716	2,626	1,517			221	0	2,078	714	667	1,052
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	570.0 (241)	31.9 (365)	124.1 (241)	6.5 (241)	51.7 (241)	68.6 (241)			53.0 (241)	0 (241)	59.6 (241)	21.2 (241)	35.4 (241)	71.3 (241)
平均在院日数	12.7	9.5	11.0	24.3	5.8	7.2			41.8	0	16.5	21.4	21.0	8.1
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	57 (29)	6 (3)	19 (12)	7 (1)	9 (3)	9 (1)			6 (2)	9 (4)	9 (3)	4 (2)	2 (1)	4 (2)

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、8. の救急医療の実績の前年度の件数及び11. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

区 分	その他の研修を行う診療科					合 計
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	形成外科	病理	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	698	388	0	421	0	16,361
年間新外来患者数	1,676	1,364	1,683	2,114	0	38,142
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	69.4 (241)	41.9 (241)	44.1 (241)	38.0 (241)	0	
平均在院日数	3.4	7.5	0	8.7	0	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	5 (1)	5 (2)	9 (5)	4 (2)	3 (1)	167 (74)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和9年度分)									臨床研修病院の名称： 長野赤十字病院					
									病院施設番号：030347					
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
長野赤十字病院	内科	10	10	6	6	5	5	7	7	4	5	4	3	5
信州大学医学部付属病院	内科	1	1	2	2						1	1	1	
新潟大学医歯学総合病院	内科								1	1	1	1		
信州医療センター	内科				1	1	1	1						
	合計	11	11	8	8	5		7	8	5	7	6	4	5
長野赤十字病院	外科	2	3	3	2	2	2	1	2	2	2	3	3	2
信州大学医学部付属病院	外科					1	1	1	1					
	合計	2	3	3	2	3	3	2	3	2	2	3	3	2
長野赤十字病院	小児科			1	1	1	2	1	2	2	1	2	2	1
信州大学医学部付属病院	小児科													
	合計			1	1	1	2	1	2	2	1	2	2	1
長野赤十字病院	総合内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
信州大学医学部付属病院	総合内科			1	1	1	1							
	合計	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
長野赤十字病院	救急	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
信州大学医学部付属病院	救急	1	1		1	1				1	1	1		
信州医療センター	救急						1	1						
	合計	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3

長野赤十字病院	麻酔科	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
信州大学医学部付属病院	麻酔科								1	1				
	合計	1		1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
長野赤十字病院	精神科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
信州大学医学部付属病院	精神科			1										1
	合計	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長野赤十字病院	産婦人科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
信州大学医学部付属病院	産婦人科			1										1
	合計	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

(令和 10 年度分)								臨床研修病院の名称： 長野赤十字病院						
								病院施設番号：030347						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
長野赤十字病院	内科	10	10	6	6	5	5	7	7	4	5	4	3	5
信州大学医学部付属病院	内科	1	1	2	2						1	1	1	
新潟大学医歯学総合病院	内科								1	1	1	1		
	合計	11	11	8	8	5		7	8	5	7	6	4	5
長野赤十字病院	外科	2	3	3	2	2	2	1	2	2	2	3	3	2
信州大学医学部付属病院	外科					1	1	1	1					
	合計	2	3	3	2	3	3	2	3	2	2	3	3	2
長野赤十字病院	小児科			1	1	1	2	1	2	2	1	2	2	1
信州大学医学部付属病院	小児科													
	合計			1	1	1	2	1	2	2	1	2	2	1
長野赤十字病院	総合内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
信州大学医学部付属病院	総合内科			1	1	1	1							
	合計	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
長野赤十字病院	救急	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
信州大学医学部付属病院	救急	1	1		1	1				1	1	1		
信州医療センター	救急						1	1						
	合計	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3
長野赤十字病院	麻酔科	1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1
信州大学医学部付属病院	麻酔科								1	1				
	合計	1		1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1

長野赤十字病院	精神科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
信州大学医学部付属病院	精神科			1										1
	合計	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長野赤十字病院	産婦人科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
信州大学医学部付属病院	産婦人科			1										1
	合計	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030347103

病院施設番号： 030347 臨床研修病院の名称： 長野赤十字病院

臨床研修病院群番号： 臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	長野赤十字病院医師臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	1. 研修医の自ら学ぶ意欲を支援していく。2. 多くの専門医療に接する機会を作る。3. 全ての専門分野の救急初期医療研修を目標とする。4. 出来るだけ責任ある立場で診療する。5. チーム医療の重要性を理解する。				
3. 臨床研修の目標の概要	医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるようプライマリーケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につける。医療の中心になって行なう医師の立場を認識し、優しく、しかも毅然とした態度で診療し、患者さんに信頼される素養を身につける。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。専門医制度において、当院は内科領域、外科領域、救急科領域が専門研修基幹施設となります。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030347	長野赤十字病院	24週	2週
	救急部門	030347	長野赤十字病院	12週	
	地域医療	033889 033890 034027 034031 096431	信越病院 飯綱病院 川西赤十字病院 愛和病院 特定医療法人 新生病院 稻荷山医療福祉センター 医療法人公仁会 轟病院 医療法人公生会 竹重病院 医療法人あい友会 あい長野クリニック 長野県立リハビリテーションセンター 山田記念 朝日病院 いろとりどりの診療所	4週	一般外来 2週 在宅診療 1週
	外科	030347	長野赤十字病院	8週	1週

	小児科	030347	長野赤十字病院	4週	週
	産婦人科	030347	長野赤十字病院	4週	
	精神科	030347	長野赤十字病院	4週	
	総合内科(一般外来研修)	030347	長野赤十字病院	8週	
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030347	長野赤十字病院	4週	
	整形あるいは脳外科	030347	長野赤十字病院	4週	
選択 科目	選択科研修	030347	長野赤十字病院	28週	
	選択科研修	030346	信州大学医学部附属病院(救急科)		
	保健・医療行政	032548	長野県赤十字血液センター		

- 1) GPCは長野赤十字病院で実施します。2) 内科は血液、呼吸器、消化器、循環器(不整脈診療科含む)、神経内科(膠原病リウマチ内科含む)、腎臓・糖尿病内分泌の中から3科を8週ずつ研修します。また、外科・小児科・麻酔科・精神科・産婦人科・総合診療科は必修とし、整形外科もしくは脳外科のどちらかは必修とします。4) 救急部門では平均月4回以上(年間48回)の準夜帯・日勤帯の救急外来時間外研修を行いません。5) 選択可能科目: 総合診療科、呼吸器内科、集中治療、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、外科(消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科)、小児外科、心臓血管外科、麻酔科、産婦人科、脳神経外科、精神科、放射線科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、形成外科、整形外科、泌尿器科、救急科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科、信州大学医学部附属病院高度救命救急センター(救急科)、地域医療
- 6) 基幹型臨床研修病院での研修期間は最低88週とします。

一般外来の研修を行う診療科・・・総合内科、内科、外科、地域医療

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号 は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： <u>030347</u>	臨床研修病院の名称： <u>長野赤十字病院</u>
	臨床研修病院群番号： 0303471	臨床研修病院群名： <u>長野赤十字病院臨床研修病院群</u>

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030347008

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週													
長野赤十字病院 (030347)	内科	9		8		6		6		4		4		5		4		5		5		5		6		4	
	救急部門	1		1		2		2		3		3		3		3		4		3		3		2		3	
	外科	3		3		3		2		3		3		3		3		2		3		3		2		3	
	小児科					1		1		1		1		1		1				1		1		1		1	
	産婦人科																										
	精神科																										
	総合診療科																										
	麻酔科							1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	整形あるいは脳外科			1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	選択科																										

*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約〇〇回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・〇〇週※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・〇〇科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030347

臨床研修病院の名称：長野赤十字病院

循環器内科 (内科)	ヨシカ ジョウ 吉岡 二郎	長野赤十字病院	名誉院長	52	○	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション学会指導医、日本心血管カテーテル治療学会指導医、第1回臨床研修指導医養成講習会、平成17年度プログラム責任者養成講習会	030347103	4
消化器内科 (内科)	ワタ シウイチ 和田 秀一	長野赤十字病院	名誉院長	47	○	日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会認定医、日本肝臓学会専門医、日本内科学会専門医、平成17年度臨床研修指導医養成講習会、平成18年度プログラム責任者養成講習会	030347103	4
精神科	タカハシ タケシ 高橋 武久	長野赤十字病院	顧問	40	○	日本精神神経学会専門医・指導医、日本総合病院精神医学会認定一般病院連携精神医学専門医、精神保健指定医、平成16年度臨床研修指導医講習会	030347103	4
救急部	ソテ ヨシサ 岨手 善久	長野赤十字病院	医師	48	○	身障手帳診断医（心臓、膀胱、直腸、呼吸器、小腸）、日本胸部外科学会指導医、日本外科学会認定医、第2回日赤臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
麻酔科	ニシガワ マサキ 西澤 政明	長野赤十字病院	医師	47	○	日本麻酔科学会指導医、麻酔科標榜医、第7回日赤臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
放射線科	カサキ ヨウイチ 岡崎 洋一	長野赤十字病院	医師	47	○	放射線科専門医、平成20年度長野県病院協議会臨床研修指導医講習会	030347103	4
小児外科 (外科)	キハラ シウイチロウ 北原 修一郎	長野赤十字病院	医師	45	○	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会認定医、日本病態栄養学会病態栄養専門医・NSTコーディネーター、医師卒後教育ワークショップ 2006	030347103	4
泌尿器科	アマノ トシヤス 天野 俊康	長野赤十字病院	医師	45	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本性機能学会専門医、日本生殖医療指導医、臨床修練指導医、第21回日本医師会指導医のための教育ワークショップ	030347103	4
循環器内科 (内科)	ツカ ノブキ 戸塚 信之	長野赤十字病院	医師	44	○	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、平成20年度臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
リハビリテーション科 (外科)	カウ ミツロウ 加藤 光朗	長野赤十字病院	医師	43	○	日本整形外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医、身障手帳診断医、H23 第4回JA長野厚生連研修医教育のためのワークショップ	030347103	4
放射線科	イマイ シュン 今井 迅	長野赤十字病院	医師	42	○	日本放射線学会放射線診断専門医 (社) 全国自治体病院協議会他主催 第74回臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
整形外科 (外科)	テグチ マサ 出口 正男	長野赤十字病院	副院長	40	○	日本整形外科学会専門医、日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医、平成20年度長野県病院協議会臨床研修指導医講習会	030347103	3.4

血液内科 (内科)	コバヤシ ヒカル 小林 光	長野赤十字病院	院長	39	○	日本内科学会認定内科専門医、日本血液学会専門医・指導医 平成26年度第1回臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
皮膚科	久保 ヒトミ 久保 仁美	長野赤十字病院	部長	39	○	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医、信大医師卒後教育ワークショップ 2007	030347103	4
乳腺・内 分泌外科 (外科)	ハマ ヨシサ 浜 善久	長野赤十字病院	部長	38	○	日本外科学会指導・専門医、日本内分泌・甲状腺外科学会専門医、日本がん治療暫定教育医、日本甲状腺学会専門医、日本緩和医療学会暫定指導医、第11回日赤臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
耳鼻咽喉 科	ネノキミ 根津 公教	長野赤十字病院	部長	38	○	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医 信州蓼科医師卒後教育ワークショップ2017	030347103	4
消化器内 科(内科)	モリ ヒロミツ 森 宏光	長野赤十字病院	部長	38	○	日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医、平成23年度臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
消化器外 科(外科)	ナカ シンジ 中田 伸司	長野赤十字病院	部長	38	○	日本外科学会専門医、平成21年度臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
精神科	ヨコヤマ シン 横山 伸	長野赤十字病院	部長	37	○	精神保健指定医、精神神経学会指導医、総合病院精神医学認定専門医、信大医師卒後教育ワークショップ 2004	030347103	4
放射線科	ササキ シンゴ 佐々木 茂	長野赤十字病院	部長	37	○	日本放射線学会放射線治療専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、信大医師卒後教育ワークショップ 2010	030347103	4
腎臓内科 (内科)	コバヤシ マモル 小林 衛	長野赤十字病院	副院長	36	○	内科学会認定専門医、腎臓学会専門医、透析学会専門医・指導医、身障手帳診断医(腎臓・呼吸)、第25回新臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
腫瘍内科 (内科)	イカハ ナオキ 市川 直明	長野赤十字病院	部長	35	○	日本血液学会指導医、日本内科学会認定内科専門医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、第17回日赤臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
救急部	イワノ トミ 岩下 具美	長野赤十字病院	部長	35	○	日本救急医学会救急科専門医・指導医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本蘇生学会指導医、日本脳神経外科学会専門医、信大医師卒後教育ワークショップ 2011	030347103	4
心臓血管 外科	コウノ テツヤ 河野 哲也	長野赤十字病院	部長	35	○	日本外科学会指導医・専門医、日本胸部外科学会認定医、日本心臓血管外科修練指導者・専門医、集中治療専門医、救急科専門医	030347103	4
呼吸器内 科(内科)	クラシ ヒロシ 倉石 博	長野赤十字病院	部長	34	○	日本内科学会総合内科専門医・がん治療認定医 日本呼吸器学会専門医・指導医、身障15条指定医(呼吸器)、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医、第5回昭和大学臨床研修指導医講習会	030347103	4

不整脈診療科(内科)	ウイ 妙々 臼井 達也	長野赤十字病院	部長	34	○	日本内科学会専門医、日本循環器学会専門医、信大医師卒後教育ワークショップ 2013	030347103	4
脳神経外科	ヨシムラ ジュンイチ 吉村 淳一	長野赤十字病院	部長	34	○	日本脳神経外科学会専門医 平成29年度第2回臨床研修指導医講習会	030347103	4
消化器内科(内科)	フジノ トル 藤澤 亨	長野赤十字病院	部長	34	○	日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、信州薬科医師卒後教育ワークショップ 2012	030347103	4
消化器外科(外科)	ニシオ アキト 西尾 秋人	長野赤十字病院	部長	34	○	日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、平成22年度日本病院会臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
消化器外科(外科)	マチダ タイチ 町田 泰一	長野赤十字病院	副部長	33	○	日本外科学会専門医、PTEC、ACLSプロバイダー、第13回日赤臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
循環器内科(内科)	ウラサキ ノブキ 浦澤 延幸	長野赤十字病院	部長	32	○	日本内科学会認定医、循環器学会専門医、身障手帳診断医(心機能障害)、第12回日赤臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
腫瘍内科(内科)	ウエノ マユミ 上野 真由美	長野赤十字病院	副部長	32	○	日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、がん治療認定機構がん治療認定医 第18回日赤十字社臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
消化器外科(外科)	クサマ ケイ 草間 啓	長野赤十字病院	部長	32	○	日本外科学会外科専門医、信大医師卒後教育ワークショップ 2006	030347103	4
腎臓内科(内科)	イチカワ トル 市川 透	長野赤十字病院	副部長	32	○	日本内科学会認定医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会専門医、日本臨床腎移植学会腎移植認定医、信大医師卒後教育ワークショップ 2012	030347103	4
小児科	コバヤシ ノリモト 小林 法元	長野赤十字病院	部長	31	○	VHJ機構指導医養成講座修了 リウマチ専門医 アレルギー学会専門医 小児科専門医	030347103	4
総合内科(内科)	イシイ フタル 石井 亘	長野赤十字病院	部長	30	○	日本リウマチ学会専門医、日本神経学会専門医、医師卒後教育ワークショップ2008	030347103	4
脳神経外科	ツチャ ナオト 土屋 尚人	長野赤十字病院	部長	28	○	日本脳神経外科学会専門医、脳神経血管治療専門医、身障手帳診断医(視聴平衡)、第9回新潟医師臨床研修指導医講習会	030347103	4
呼吸器外科	コバヤシ フタ 小林 宣隆	長野赤十字病院	部長	27	○	臨床研修指導医のための教育ワークショップ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本外科学会専門医・指導医 呼吸器外科専門医 肺がんCT検診認定医師	030347103	4

外科	マチダ ミスホ 町田 水穂	長野赤十字病院	副部長	27	○	日本消化器外科学会専門医・指導医 日本外科学会専門医・指導医 第118回臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
神経内科 (内科)	タザワ コウイチ 田澤 浩一	長野赤十字病院	部長	26	○	信大医師卒後教育ワークショップ [®] 2011、神経内科学会専門医、内科学会認定、	030347103	4
放射線科	スズキ アキエ 鈴木 亜紀重	長野赤十字病院	副部長	25	○	平成28年度信州蓼科ワークショップ2017、放射線専門医、放射線診断専門医、PET核医学認定医	030347103	4
心臓血管 外科	マツムラ ユウ 松村 祐	長野赤十字病院	副部長	24	○	日本外科学会専門医、心臓血管外科専門医、循環器専門医	030347103	4
形成外科 (外科)	ミナミ ヨシト 三島 吉登	長野赤十字病院	部長	24	○	日本形成外科学会専門医、日本手外科専門医、信大病院医師卒後教育ワークショップ [®] 2007	030347103	2.4
乳腺・内 分泌外科 (外科)	オカダ トシヒロ 岡田 敏宏	長野赤十字病院	部長	24	○	日本外科学会専門医 信州蓼科ワークショップ2019	030347103	4
循環器内 科	ナカジマ ヒロユキ 中嶋 博幸	長野赤十字病院	副部長	23	○	総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 JA長野厚生連第9回「研修医教育のためのワークショップ」	030347103	4
小児科	ヒラハヤシ カエ 平林 佳奈枝	長野赤十字病院	部長	23	○	日本小児科学会小児科専門医・H27第21回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
血液内科 (内科)	ウエキ トシミツ 植木 俊充	長野赤十字病院	部長	23	○	日本内科学会認定内科専門医、日本血液学会専門医・指導医、日本輸血細胞治療学会認定医、信州蓼科医師卒後教育ワークショップ2014	030347103	1.4
消化器内 科(内 科)	イトウ テツヤ 伊藤 哲也	長野赤十字病院	副部長	23	○	日本内科学会認定内科専門医、日本消化器学会専門医、指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、信大医師卒後教育ワークショップ [®] 2017	030347103	4
小児科	ムナカタ シュン 宗像 俊	長野赤十字病院	部長	23	○	日本小児科学会専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会、周産期専門医(新生児指導医、第20回臨床研修指導医のための教育ワークショップ(日本大学医学部主催))	030347103	4
麻酔科	フセヤ サトシ 布施谷 仁志	長野赤十字病院	部長	23	○	日本麻酔科学会専門医・指導医、日本ペインクリニック学会専門医、日本区域麻酔学会ペインクリニック認定医、信大医師卒後教育ワークショップ [®] 2014	030347103	4

麻酔科	タナカ トシユキ 田中 稔幸	長野赤十字病院	副部長	22	○	信大医師卒後教育ワークショップ° 2016 日本麻酔科学会指導医・専門医	030347103	4
循環器内科 (内科)	ハシヅメ ナオト 橋詰 直人	長野赤十字病院	副部長	21	○	「信州薬科医師卒後教育ワークショップ2017」、日本 心血管インターベンション治療学会認定医、循環器専 門医、総合内科専門医、認定内科医、日本医師会認定 産業医	030347103	4
消化器内 科(内 科)	トクナケ コウジロウ 徳竹 康二郎	長野赤十字病院	副部長	21	○	日本消化器内視鏡学会専門医、H27石巻赤十字 病院臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
産婦人科	サカキ シン 堀澤 信	長野赤十字病院	部長	19	○	日本産婦人科学会専門医、平成28年度臨床研修指導医 講習会(日本病院会)	030347103	4
血液内科 (内科)	サトウ ケイジロウ 佐藤 慶二郎	長野赤十字病院	副部長	19	○	平成25年度日本病院会臨床研修指導医養成講習会	030347103	4
心臓血管 外科	タカノ トモヒロ 高野 智弘	長野赤十字病院	副部長	18	○	第11回福島県医師臨床研修指導医養成講習会修了、日 本外科学会専門医、心臓血管外科専門医認定機構心臓 血管外科専門医・修練指導者、	030347103	4
救急部	イチカワ ミチタロウ 市川 通太郎	長野赤十字病院	副部長	18	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2020	030347103	4
消化器内科	シバタ ケイコ 柴田 景子	長野赤十字病院	副部長	17	○	Certificate of Achievement 信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショッ プ2016	030347103	4
呼吸器内科 (内科)	ヤマモト マナ 山本 学	長野赤十字病院	部長	17	○	第31回日赤臨床研修指導医養成講習会 日本内科学会 総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医	030347103	4
眼科	アカハネ ケイタ 赤羽 圭太	長野赤十字病院	部長	17	○	日本眼科学会認定専門医 信州薬科医師卒後教育ワークショップ2019	030347103	4
麻酔科	ヨシヤマ ユウキ 吉山 勇樹	長野赤十字病院	副部長	16	○	日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構麻酔科専門 医、麻酔科標榜医、日本ペインクリニック学会専門 医、日本区域麻酔学会指導医、信州薬科医師卒後教育 ワークショップ2018修了	030347103	4
整形外科	ミヤツ ユウ 宮津 優	長野赤十字病院	部長	16	○	日本整形外科学会専門医 第19回愛知県厚生農 業協同組合連合会指導医講習会	030347103	4
糖尿病・内 分泌内科 (内科)	カワイ ユウコ 河合 裕子	長野赤十字病院	部長	16	○	日本内科学会認定内科専門医 信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショッ プ2018	030347103	4

放射線科	オザワ 小沢 タケスミ 岳澄	長野赤十字病院	副部長	16	○	日本放射線学会放射線治療専門医 信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2016	030347103	4
耳鼻咽喉科	コバヤシ 小林 タカアキ 孝光	長野赤十字病院	副部長	15	○	近畿大学病院主催臨床研修指導医のための ワークショップ	030347103	4
不整脈診療科	タバタ 田畑 ヒロアキ 裕章	長野赤十字病院	副部長	15	○	日本循環器学会循環器専門医 第1回上越総合病院臨床研修指導医講習会	030347103	4
消化器内科	タカハシ 高橋 ヨシユキ 芳之	長野赤十字病院	副部長	13	○	日本肝臓学会肝臓専門 日本消化器病学会専門医 信 大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2020	030347103	4
消化器内科	コンドウ 近藤 ショウヘイ 翔平	長野赤十字病院	副部長	11	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2023	030347103	4
形成外科 (外科)	ミムラ 三村 シンエイ 信英	長野赤十字病院	副部長	9	○	日本形成外科学会専門医、信大病院を中心とした 医師卒後教育ワークショップ2024	030347103	4
膠原病リウ マチ内科 (内科)	ノナカ 野中 タケトシ 越聡	長野赤十字病院	副部長	9	○	日本内科学会認定内科専門医 JA長野厚生連第13回研修医教育のためのワーク ショップ	030347103	4
膠原病リウ マチ内科 (内科)	ノムラ 野村 シュン 俊	長野赤十字病院	副部長	9	○	日本リウマチ学会指導医・専門医 信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2022	030347103	4
泌尿器科	マンモト 松本 ユウキ 侑樹	長野赤十字病院	副部長	9	○	日本泌尿器科学会専門医 信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2025	030347103	4
糖尿病・内 分泌内科 (内科)	クボタ 久保田 サトシ 諭史	長野赤十字病院	副部長	8	○	日本内科学会認定内科専門医 信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2025	030347103	4
病理部	サトウ 佐藤 ヨシノリ 良紀	長野赤十字病院	副部長	9	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2023	030347103	4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

臨床研修病院群の想定時間外・休日労働時間の記載

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 長野赤十字病院 （ 長野県 ）

研修プログラムの名称 長野赤十字病院医師臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
長野赤十字病院	30347	基幹型	長野県	360	4回～6回/月	約355時間 対象となる臨床研修医25名 (2025年度)	
		基幹型					適用 申請中 申請予定
信州大学医学部附属病	30346	協力型	長野県	720	4回～6回/年 救急科研修時に週1回程度 宿日直許可なし	約437時間 対象となる臨床研修医20名 (2025年度)	
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、協力型臨床研修病院については施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及びすべての協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事するすべての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準またはC-1水準しか適用されない。